抵当権設定契約書

抵当権者○○○○（以下「甲」という。）と抵当権設定者○（以下「乙」という。）との間において、抵当権設定のため次のとおり契約を締結した。

　（設定契約）

**第１条**　乙は、債務者○（以下「丙」という。）と債権者甲との間の令和〇年〇月〇日付け金銭消費貸借契約書に記載した丙の債務の履行を担保するため、甲に対し、乙所有の下記不動産（以下「本物件」という。）の上に抵当権を設定した。

　所在

　地番

　地目

　地積

　（抵当権の順位）

**第２条**　甲は、甲が設定を受ける抵当権の順位が第二順位であることを承知した。

　（設定登記）

**第３条**　乙は、本契約締結後、直ちに甲のために本物件について抵当権設定登記手続を行う。

　（禁止事項）

**第４条**乙は、甲の承諾を得ないで、本物件を他に譲渡し賃貸もしくは担保に提供しまたはその現状を変更する等、甲に損害を及ぼす一切の行為をしてはならない。

（協議解決）

**第５条**　本契約に定めのない事項又は本契約の解釈について疑義が生じたときは、甲乙誠意をもって協議のうえ解決する。

　（合意管轄）

**第６条**　甲及び乙は、本契約に関し裁判上の紛争が生じたときは、訴額等に応じ、〇〇簡易裁判所又は〇〇地方裁判所を第１審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意する。

　甲と乙は以上のとおり合意し、その成立の証として、本契約書2通を作成し、各自、署名又は記名捺印の上、各１通宛所持するものとする。

　令和〇年○月○日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　甲

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　〇　〇　〇　〇　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　乙

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　〇　〇　〇　〇　㊞

　乙の本契約書による抵当権の設定は、私の委託に基づくものである。

　令和〇年○月○日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　丙

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　○　○　○　○　㊞